

吹田市のごみ事情と環境教育支援活動

土肥將嗣

私は、すいたシニア環境大学（1期生）卒業後、「エコの語り部」として、吹田市内の学校、公民館などで環境教育の支援活動を行なっています。

今回は、吹田市のごみ事情と中学校で行なったごみについての環境教育の様子を紹介します。

吹田市の年間のごみ排出量（一般廃棄物・平成22年度）は11万トンで、1人1日当たり949gです。これらのごみは12種分別に分けられ、決まった収集日に回収されます。このうち、資源ごみとして、自治会や子供会によって集団回収されるごみの量は約1万トンで、1kg当たり7円の報奨金が支給されますので、去年は447団体に対し7000万円の報奨金が支給されま



した。約100万円の報奨金を受け取り、バットやグローブを購入し、好成績を収めた野球チームもありました。これらのごみの処理は千里万博公園の東にある吹田市資源循環エネルギーセンターと破碎選別工場で行なわれています。

なお、ごみの12種分別は次のとおりです。

燃焼ごみ（週2回、回収）

資源ごみ（月2回、回収）・・・ 新聞、雑誌類、段ボール 古着類
かん びん ペットボトル 牛乳パック

大型複雑ごみ（月1回、回収）

小型複雑ごみ（月1回、回収）

有害危険ごみ（月1回、回収）

次に最近、吹田市内の中学校で行なった、ごみについての環境教育支援授業の様子を紹介します。授業の内容は 吹田市のごみ事情 ごみの分別体験 ごみ減量への心がけ、その必要性和効用。

授業を楽しく、ごみ資源に興味を持って貰うために、データやイラストを書いた模造紙の教材を貼る台紙はリサイクルダンボールを使用した。生徒は、講師の話す吹田市のごみ排出量の推移や処理施設と最終埋立場所などを静かに聞きながらノートしていました。

ごみの分別体験は4班に分けて実施。班ごとにごみの模型カード（約40枚）を、これは燃焼ごみ、資源ごみ、大型複雑ごみ、有害危険ごみなど、一生懸命になって分類をしていました。消火器、タタミ、家電、パソコンなど市が収集してくれないごみがあるんだと少し苦戦する場面もありました。

本日学んだことを活かして、今後正しいごみの分別回収に協力してくれることをお願いして授業を終了しました。



環境 pico の自然エネルギー勉強会

都会で創ろう！ 私たちの発電所 ～誰でも参加できる、市民共同発電のすすめ！～

わが家にはムリでも自然エネルギーは増やしたい！

省エネもするけど創エネも必要ね！ 安全はもっとも大切。だから、原発はいらない！

2009年12月、大阪市内で初の太陽光市民共同発電所「ECOまち・さわやか発電所」ができました。

よどがわ地区を基点に、住民と大阪経済大学がパートナーシップを組んで環境と街づくりを考えて創った太陽光発電プロジェクト。補助金と、市民の寄付&出資でつくりました。市民共同発電所を設置したお話を伺い、事例を学ぶとともに、問題点や課題を話し合いたいと思います。ご参加をお待ちしています。

一緒に、安心してクリーンな自然エネルギーを広げる活動を始めませんか。

日時：2011年10月22日(土) 13:30～15:30

場所：大阪環境情報プラザ・研修室(大阪市東成区中道1丁目3-62)

地下鉄中央線「森ノ宮」またはJR環状線「森ノ宮」より徒歩約5分

発表：ECOまちネットワーク・よどがわ 副代表 藤元百代、会計 山本容子

定員：25名(先着順)

申込：前日までに、氏名・連絡先・所属をご記入のうえ、E-mailまたはFAXで

主催：NPO法人環境情報ステーション pico

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1丁目4-20-801

TEL 06-6886-5997 / FAX.06-7174-1159

E-mail pico@pico-jp.net URL <http://www.pico-jp.net/>